



市議会だより

6月定例会 7月臨時会

No. **156**
平成26.7.23

9月定例会は、8月26日(火)開会の予定です

暑中お見舞い
申し上げます



主な内容

- 6月定例会の概要 …… 2～4ページ
- 陳情の審査結果、議員表彰 …… 3ページ
- 常任委員会報告 …… 3～4ページ
- 常任委員会行政視察報告 …… 5～6ページ
- 個人質問(14名) …… 7～13ページ
- まち再生特別委員会報告
議会基本方針等検証委員会報告
傍聴席、編集後記 …… 14ページ



6月定例会 小諸市非常勤消防団員に係る 退職報償金の改正など23議案を可決

平成26年第2回6月市議会定例会が5月27日に招集され、6月17日までの22日間の日程で開かれました。本定例会では、理事者から補正予算、条例改正等19件が提案されそれぞれ可決、承認されました。

また、関係省庁への意見書提出を求める議員発議等3件が提出され可決されました。

主な議案

◆条例
「小諸市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例」

この改正は、消防団員等公務災害補償等共済基金が市町村に支払う消防団員退職報償金支払額が増額されることにより、

勤続10年未満の団員の金額が5万6千円引き上げられて20万円となる以外は一律5万円の引き上げとなります。

「小諸市市税条例の一部を改正する条例」

個人住民税の公的年金からの特別徴収制度において、市町村が公的年金の支払いをする際に徴収する仮特別徴収税額を、年金所得者の公的年金に係る前年度分の個人住民税の2分の1に相当する額とする等の見直しがされました。

◆補正予算

平成26年度小諸市一般会計補正予算(第2号)

かつて庁内や市民会館等で使用していた蛍光灯の安定器・コンデンサ825

kg(ドラム缶3本)、及び市民会館等で使用していた大型トランス・コンデンサ3台のPCB廃棄物の運搬費用及び処理手数料2千300万円が計上されました。

このほか、国のコミュニケーション助成事業の交付決定に伴い、松井区の放送設備・会議用テーブル等整備事業ほか5事業に対しての補助金90万円、既存小規模福祉施設(有料老人ホーム)のスプリンクラー設置に対する助成として870万円、佐久市が建設する新火葬場の小諸市内分の進入路整備のための測量・設計委託料1千300万円が計上されました。

平成26年度小諸市一般会計補正予算(第3号)

すまいのリフォーム応援事業について、2月の大雪被害に伴う申請が増えていること、また、過去に抽選ではずれた方が再応募していることを考慮し、応募者全員を対象とするため、1千万円が

追加計上されました。

平成26年度小諸市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

旧御影処理場の防災施設としての再利用のための改修工事費800万円の補正予算が計上されました。

意見書2件を可決

6月定例会において、次の意見書が可決され、関係省庁へ送付されました。

●国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書

●「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書

人事

●小諸市農業委員

議会が学識経験者を推薦している農業委員について、次の方を推薦しました。

土屋 寿恵氏 御影区
任期は平成26年7月20日から3年間です。



消防団員の活動

請願・陳情の審査結果

| 種類 | 件名 | 氏名 | 結果 |
|-------------------|---|-----------------------------|------|
| 6月定例会ではじめて審査されたもの | 国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する陳情書 | 小諸市教職員組合 代表者 米山 忍 | 採択 |
| | 「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める陳情書 | 小諸市教職員組合 代表者 米山 忍 | 採択 |
| | 地方教育行政への国や首長の関与を強化する「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の「改正」に反対する意見書提出に関する陳情書 | 長野県教職員組合 佐久支部 執行委員長 原 治夫 | 一部採択 |

臨時会

7月8日、平成26年第3回市議会臨時会が開催されました

◆一般議案

和解及び損害賠償の額の決定について

職員の交通事故に対する損害賠償について、相手方と和解と損害賠償額170万円余が承認され決定となりました。尚、賠償額は全額保険金より支出されます。

議員表彰

去る5月28日、東京日比谷公会堂で開催された第90回全国市議会議長会定期総会において、小林より子議員が、議員に15年以上在籍し、長年の議員活動の功績により表彰されました。また、4月24日に開催された第89回北信越市議会議長会定期総会においても同様の表彰を受け、6月定例会本

人事

●小諸市農業委員

本臨時会では、議会が学識経験者を推薦している農業委員について、次の方を推薦しました。

尾沼 美枝子氏 後平区
任期は平成26年7月20日から3年間です。

会議において、表彰状と記念品の伝達が行われました。小林より子議員から謝辞が述べられました。



受賞された小林より子議員

6月11日
総務文教委員会
報告

■小諸市市税条例の一部を改正する条例について

質 疑

株式等としていたものが、上場株式等と一般株式等となった理由は。

答 弁

一般株式等に係る譲渡所得等と上場株式等に係る譲渡所得等に分けて分離課税する改正を行った。

質 疑

■小諸市非常勤消防団員に係わる退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について

質 疑

退職報償金を、この時期に引き上げた理由は。

答 弁

今年3月に出された国の政令により、引き上げを行ったため。

■平成26年度小諸市一般会計補正予算(第2号)

質 疑

市庁舎及び市民会館のPCB使用コンデンサ等

の処理方法は。

答 弁

北海道の日本環境安全事業(株)にて処理する。小学校5校で保管しているPCB廃棄物は、来年度以降に処理手続きを進めていく。

質 疑

社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の施行計画は。

答 弁

現在システム改修中であり、平成28年1月から開始予定である。

質 疑

今年度外国語指導助手が委託から市の雇用になったが、状況はどうか。

答 弁

学校長、教育委員会から直接指示できるため、今まで以上に成果が上がると感じている。

質 疑

本年4月に、中間教室を統合した教育支援センターの運営状況はどうか。

答 弁

支援センターには中学生11人が通っている。職員が5人体制となったこと

とから、指導員が家庭に出向き交流を図っている。

質 疑

旧小諸本陣(問屋場)をどの様に保存修理するのか。

答 弁

部分的修理ではなく、全体的に解体して改修する方向で検討している。

■平成26年度小諸市一般会計補正予算(第3号)

質 疑

すまいのリフォーム応援事業の申し込み状況が4千137万円に対し地域振興資金からの繰り入れ1千万円で足りるのか。

答 弁

市税滞納者、個人名義でない方は対象とならないため、補正額で足りる。



教育支援センター

6月10日
福祉環境
委員会
報告

■平成26年度小諸市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

質疑

農業集落排水事業を公共下水道事業に統合する検討をしているのか。

答弁

小諸市では総合管理計画を今後3年間で進める予定であり、その中で農業集落排水事業の固定資産が明らかにされる。その後の方針として公共下水道事業との統合、事業同士の統合、あるいは合併浄化槽への転換があるが、今後管理計画を作成し明らかにしていく。

■平成26年度小諸市公共下水道事業会計補正予算（第1号）

質疑

小諸市浄化センターの遠心脱水機の入替えを行う際に、市単独費500万

円の持ち出しがあるが、なぜ補助対象にならないのか、投資効果はあるのか。

答弁

国の規定で機械電気類の耐用年数は8年と定められており、今回の導入にあたっては、制御盤の更新も必要となり、処分制限期間内となる制御盤は補助対象外となる。新機種では、24時間無人で稼働できること、消費電力も少ないことにより、人件費や維持費の軽減になり長期的にみて500万円を単独で支出しても有利である。

■平成26年度小諸市一般会計補正予算（第2号）

質疑

市内の住宅型有料老人ホーム2施設へのスプリンクラーの設置補助は、今後他の施設にも設置予定があるのか。

答弁

設置が義務付けられている介護保険施設等は、すでに設置が完了している。今のところ他に要望

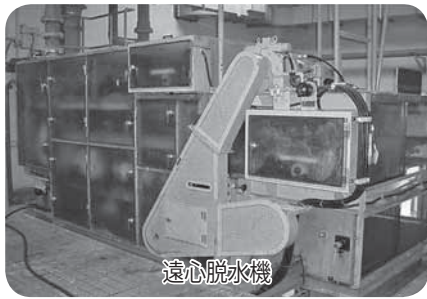
は上がっていないが、今後は申請があると予想している。

質疑

廃棄物減量等推進事業について、仮称「ごみ減量アドバイザー」の立ち上げはどのように進めるのか。

答弁

「小諸市ごみ処理基本計画」の中に本組織を立ち上げて活動していく事が、廃棄物行政の推進に重要であるとしている。具体的には、今年度開催する「廃棄物減量・再資源化等推進市民会議」で、委員の皆さんに議論をしていただき最終的な決定をしていく。



遠心脱水機

6月11日
経済建設
委員会
報告

■市道路線の認定について

四ツ谷区内及び谷地原区内の市道2路線で、民間業者の宅地造成に伴い築造されたものであり、現地調査を実施し、審査の結果、原案通り可決としました。

■市道路線の廃止について

南町区内及び四ツ谷区内の市道2路線の廃止であり、現地調査を実施し、審査の結果、原案通り可決としました。

■和解及び損害賠償の額の決定について

（市職員が公務中に公道上で起こした事故について、相手方と和解及び損害賠償の額を定めるものです）

■和解及び損害賠償の額の決定について

損害賠償金を保険対応

■和解及び損害賠償の額の決定について

■和解及び損害賠償の額の決定について

■和解及び損害賠償の額の決定について

以外で、市が支払う賠償金はあるのか。

答弁

全額損害賠償保険の適用を受け、市が単独で負担するものはない。

■平成26年度小諸市一般会計補正予算（第2号）

質疑

農地費運営費の「みまき大池」について、他の地区や制度との整合性はどうか。

答弁

今回の直接支払制度は、平地に対する新しい事業で既に取り組んでいるが、急傾斜地も含め、環境保全の為に取組む。現在は、新事業の周知を目的に土



みまき大池

地改良区や畑かん組合等に説明している。

質疑

企業立地推進事業費の事業のメリットはどうか

答弁

税金と雇用を考え、5年後、10年後に小諸市に誘致して良かったと言える事業としたい。

質疑

市単道路等整備事業で、新火葬場への進入道路の拡幅、往來ルートはどうか。

答弁

現道を拡幅するルート計画を検討している。往來については指定ができない。

■平成26年度小諸市一般会計補正予算（第3号）

質疑

すまいのリフォーム応援事業の経済的波及効果はどうか。

答弁

100近い業者が関わっており、希望届の概算となるが3億円弱の工事費になる。

常任委員会 行政視察報告

行政視察報告会を実施

7月8日(火) 13時30分～17時まで、小諸市市役所3階の委員会室で、小諸市議会行政視察報告会が開催されました。

常任委員会の行政視察について、その目的や内容を報告し、小諸市政への提言も含め、全議員が共有するために始まった報告会ですが、市職員はじめ市民の皆さんにも広く呼びかけ、年々参加者が増えています。SNSの影響で市外からも足を運んでくださり、その後フェイスブックへ投稿して、多くのコメントが寄せられているのを拝見しました。

議員は視察後、全員が報告書を提出しますが、こうして報告会を開催することによって、改めて振り返り、伝えるための準備をすることで、より視察内容が身についたと実感しました。

3常任委員会に共通していたテーマは、重要事業に付随したもので、小諸市の今後にすぐにも役立てたいという姿勢が強く出ていました。

報告後には質問が出て各委員会1時間では足りないくらいでした。時間的制約がある中で、言い足りない、聞きたりないところをどう汲み取って活かしていくかが、今後の課題と言えます。

皆さんのご意見・ご感想をお寄せください。



行政視察報告会

総務文教委員会

佐賀県伊万里市・佐賀県武雄市・長崎県島原市

5月21日～23日

小諸市では、新図書館建設を控えており「図書館」の先進地である伊万里市と武雄市へ。2月の豪雪災害に関連して市民への情報発信・共有の課題では「フェイスブック

つ民主的な地方自治の発展を促すため「中略」とあった。レファレンスデスクでは、専門の職員が質問、相談を受けていました。

●伊万里市Ⅱ『図書館』の設置条例は「伊万里市は、すべての市民の知的自由を確保し、文化的か

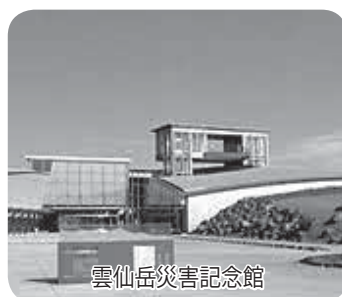
●武雄市Ⅱ『図書館』は市民生活をより豊にすることをめざし、企画会社と実現する新しい公共施設として再生された。雑誌や映画・音楽CD等・文具類も買え、スターバックスやカフェテラス等もあり、レジャー感覚で利用されていた。

●伊万里市Ⅰ『図書館』の設置条例は「伊万里市は、すべての市民の知的自由を確保し、文化的か

●島原市Ⅱ『地域児童見守りシステム事業』について「小学校全10校の校門等にICタグリーダーとWEBカメラを設置。ICタグを持たせた対象児童のタグを読み取り登下校情報を把握していた。地域の見守りもあり補助的なものであった。

●伊万里市Ⅱ『図書館』の設置条例は「伊万里市は、すべての市民の知的自由を確保し、文化的か

●島原市Ⅱ『地域児童見守りシステム事業』について「小学校全10校の校門等にICタグリーダーとWEBカメラを設置。ICタグを持たせた対象児童のタグを読み取り登下校情報を把握していた。地域の見守りもあり補助的なものであった。



雲仙岳災害記念館

●雲仙岳災害記念館』では、火砕流や土石流の映像が上空から見える工夫のある映像が超大型スクリーンに映し出され、床も震動し、顔面前の吹き出し口から熱風が出る等で噴火災害を身体全体で感じる事のできる体験型の学習施設であった。

福祉環境委員会

高知県高知市・徳島県上勝町・徳島県鳴門市

5月14日～16日



いきいき百歳体操を行う委員

●高知市

『高齢者支援“こうちマイレージ事業”』

この4月からスタートした高齢者の健康増進政策で、目的は介護予防の推進です。介護施設でのボランティア活動といきいき百歳体操への参加によりポイントが付き、そのポイントに応じて商品券等と交換されます。高齢者の生きがいにもなり、その効果が期待するものです。

○『自殺予防啓発事業“JUNOの体温計”』

自殺予防事業であり、

携帯やスマホで質問に答えるとメンタルチェックできます。IT活用により、若い世代にも容易に利用でき、啓発につながります。

●上勝町

『高齢者生きがいづくり“葉っぱビジネス”』

小さな町の高齢者雇用創出策であり、お料理のつまものを商品化して販売し、生きがいになっていくのに感じました。登録者約200名で、J Aとの連携で年商2億6千万円を売り上げています。高齢者が自然の恵を活用し、その生きがいにもなり、明るく元気になって、町が活性化しました。

●鳴門市

『ごみ減量、環境学習“環境学習館”』

学習館は処理能力70t／日の鳴門クリーンセンター内にありました。環境学習館は施設見学、体

験学習、エコ体験学習などの他に教室作品の展示スペースもあり、鳴門市民の環境への意識の高さを感じました。

鳴門市クリーンセンターの運営は、リサイクルプラザも含めて直営であり、職員も技術専門職として採用し、処理方式もガス化溶融炉であり、小諸市の業務委託との違い等も含めて視察しました。小諸市も環境学習、体験学習もできる施設となりますので参考になりました。



環境学習館の展示コーナー

経済建設委員会

大分県竹田市・熊本県菊池市・熊本県熊本市

5月21日～23日



菊池市で説明を受ける委員

●竹田市

『複合型アグリビジネスと6次産業化による新ブランド戦略の取り組み』

高齢化率40%超の同市の生き残る道は、農業と観光に主眼を置いた政策と位置付け、官民一体となった経済活性化促進協議会により厚生労働省地域雇用創造推進事業・実現事業を取り入れ、食育ツーリズム雇用創出大作戦・地域エージェンツブランドワン作戦を展開した。小諸市では専業農家による高原野菜等の出荷、

ワインバレー構想等のある中、後継者の育成、農業・観光と連携した医療福祉都市、優良農地の有効活用等を考える必要がある。

●菊池市

『地域公共交通体系の構築及び運営』

補助金を出している路線バス、スクールバスの活用が少なく、交通体系の見直しを図り、市の財政負担を削減する発想が必要となった。「菊池市の交通体系の構築」により、市の実情に沿い、郊外地域と市街地を巡回する必要性、相乗りタクシーの活用等を市民の理解を得て実施し、運行経費の削減に成功している。

当委員会では、国の補助金が見込まれなくなる前に、交通体系の見直し、運行経費の削減等につき、事業目的をはっきりさせ

担当部局と協議を進め提

言としたい。

●熊本市

『健軍商店街、医商連携による次世代型まちづくり』

商店街がより一層、生活者と密接な関係を築き地域の一員として役割を担い発展していくことが重要と考え、心身の健康交流という視点から生活サービスの充実を図り、顔の見える安心安全なまちづくりを目指している。公共施設が揃う小諸市中心市街地でこそ医商連携のまちづくりが可能と考ええる。



賑わう健軍商店街

少子高齢化社会を生き抜くために
人口減少と地域の将来像、地域包括ケアシステム

質問

小諸市の人口減少予測とその影響・対応についての考え方はどうか。

市長

25年後の人口は約3万人の推計で税収減少による財政縮小や中心市街地空洞化等、社会経済全般に深刻な影響が予測され、早急にプロジェクト組織を作り対策を検討したい。

質問

魅力ある地方都市づくりができれば人口減少が急速に進む可能性もあるが、若者にとつて魅力ある小諸市の考え方は。

市長

梅花教育の理念に基づく教育の市として、子育て教育は小諸



柏木今朝男
(公明党)



市としてしたい。

質問

地域包括ケアシステムの取り組み状況と在宅医療介護連携体制はどうか。

市長・民生部長

認知症ケアパス作成に取組中。連携体制は不十分だが協議会設立準備中。

質問

低年金受給者が利用可能な高齢者施設を先進事例を参考に検討したい。

民生部長

大変いい取り組みの紹介を参考に検討したい。

児童生徒数の推移及び食物アレルギー児童生徒数はどうか
保育園を避難所として非常食の備蓄はどうか

質問

5年後・10年後の児童生徒数の推移はどうか。

教育長

小学校全体で現在は2千294名で、5年後は207名減、10年後は368名の減少となり、中学校では5年後は53名減、10年後は159名の減少となる。

質問

食物アレルギー児童生徒数と給食対応はどうか。

教育長

小学校全体で14名、中学校全体で64名です。

アレルギー対応については現状の施設では厳密には不可能ですが、現状の施設と調理職員で精いっぱい対応をしている。

質問

児童生徒が減少する中で給食提供業務のあり方の検討はどうか。

教育長



市内小学校給食室

長期的な学校改築計画を策定する上でも学校給食のあり方は先行して結論を出したい。

質問

保育園を避難所として非常食の備蓄はどうか。

市長

学校がない地域や学校が災害区域に指定されている地域は検討したい。



清水喜久男
(新公会)

「新図書館にブック&カフェ導入」と
「医療費無料化を18歳までに」してはどうか



竹内 健一
(創正会)

質問

来年10月に開館する新図書館にブック&カフェを導入して欲しい。また新刊雑誌の販売はどうか。

教育長

面積83㎡のカフェスペースは確保するが、本を読みながらのカフェ形態も増えてきており検討する。新刊販売は現段階では取り入れる予定は無い。

質問・提案

「都市の低炭素化」を推進する中で市内各地に駐輪場を設置し自転車を無料貸し出しできるシステムの構築はできないか。

市長

公共交通網の調査結果を受け今後研究していく。



館内にスターバックス・TSUTAYA
導入の武雄市図書館

質問・提案

少子化の歯止め施策として、子育て世代の環境の充実はできないか。

市長

出生数を増やすため市内プロジェクトチームの総合力で推進していく。

質問・提案

現在中学生までの医療費無料化を18歳までに引き上げられないか。

市長

中学生まで引き上げて1年半、効果を検証し判断するが現段階では厳しい。

高峰高原400mトラックとグラウンドについて



田中 寿光
(創正会)

質問

官民協働による整備計画の策定状況はどうか。

市長

浅間山麓高地トレーニングエリア構想は、浅間山麓スポーツ医学研究所が具体的な取り組みをスタートしたところである。高峰高原に計画している400mトラックについては、民間企業が事業主体となつて整備、管理・運営も行う計画だが、現在は整備に向けた実施設計及び保安林区域解除申請などの協議を行っている状況である。

また今月16日には、日本陸上競技連盟関係者が現地視察に来訪する予定だが、中央競技団体からアドバイスをいただける絶

好の機会であり、事業主体の民間企業も実施設計に生かしたいという意向であるとのことである。

質問

2016年に向けて、施設供用開始のめどはどうか。

市長

来年度、施設整備に着手できれば何とか間に合う状況である。早期完成するよう関係者等へ要請していく。



日本陸連関係者が現地視察に来訪

低炭素のまちづくりと 浅間山麓高地トレーニング構想の住民健康増進について

質問

小諸すみれ号は市街地に向かって放射線路上に運行しているが、商業圏は東西南に延びている。これをつなぐ交通体系は。

建設部長

アンケート調査から市民ニーズを踏まえた新しい交通体系を検討している。トイレの設置は経費的に難しい。

質問

健康と環境に配慮した持続可能なまちづくりに健康ロードマップはいかがか。

民生部長

まちなかを健康的にゆっくり眺めながら歩く。この時距離や運動量の目安などを示したコースマップ等も検討し運動習慣の



柳沢乃ぶ子
(新風会)



小諸すみれ号バス停

定着を図っていく。

質問

高地トレーニング構想の中で地域住民の健康増進計画で、標高差によって泉質の異なる温泉の活用はどうか。

市長

心肺機能の向上・ダイエットや滞在型・宿泊型等のパターン別等の研究をしていく。また泉質の異なる温泉の活用方法も検討していく。

市民の安全安心の行政運営の 取り組み姿勢について

質問

市民の安全、安心を目指す環境行政について、産業廃棄物再生利用業(株)リニューアルの悪臭の苦情が現在も地域住民から出されているが、小諸市の市民生活を守る道義的責任から、今後どのような姿勢で対応するのか。

市長

小諸市においては許認可権等は無く、規制措置はできないが、問題点については十分承知しており、業者には、その点を含め、今後は地域住民と協議会の立ち上げ等解決に向けた努力をして参りたい。また、県行政にも意見具申をしていきたい。

質問

市内小中学校の施設整備の取



中村憲次
(政真会)



学校施設点検 (野岸小プール)

り組みについて、各学校において、多くの施設不備の課題が提示されており、安全安心に關してできる改善は、早急に対応できないか。

教育長

各学校の課題、問題点について、指摘された内容は教育委員会でも承知しているので安全安心のため、まず安全を第一に考え、優先的に改善していきたい。

既存施設の有効利用と 施設整備をどう考えるか



田邊 久夫
(創正会)

質問

南城公園プールの運営については、維持管理ではなく市民が通年で利用できるような設備投資の面を含め、施設の見直しをする必要があると考える。例えば、多目的広場や50mプールの温水化等はどうか。

教育長

非常に維持管理にお金のかかる施設だということは十分承知している。できた当初のウォータースライダーも現在は改修するのに非常にお金がかかるというところで、そのままでは、施設全体が老朽化しており、維持管理にまたお金がかかる。教育委員会としては、いつこれに見切りをつけるかということの判

断をする時期が迫ってきていると考えている。色々な方面からこの施設、維持管理それから後の利用等を考えていかなければならないと思っている。そのため、議員が言ったように多目的な使用の仕方等も考え、検討していきたいと思う。



南城公園プール

市民の健康について



後藤 邦夫
(公明党)

質問

特定健康診査についてコンビニの利用はどうか。

市長

特定健康診査受診率の目標を平成29年度60%に設定している。平成23年度は34%の結果であった。受診勧奨を重点項目と位置づけ、今年度は国の助成事業を活用し、全未受診者への電話による受診勧奨業務や保健指導の一部を専門業者に委託し、受診率向上に努めていく。

質問

市HPの観光案内に動画を取り入れてはどうか。

市長

新しくなった市HPで、今までは別サイトに移らなければ見



ハートプラスマークの表示がある保健センター駐車場

られなかった動画が直接見られるようになった。

質問

公共施設駐車場にハートプラスマークの表示を。

市長

身体内部障がいの方は、外部からは分かりにくいいため、障がい者駐車スペースに駐車するにも誤解を受けることがあるので、市民の皆さんに対する周知、またどのような表示が良いか検討する。新庁舎は現在検討している。

介護保険適用外となる要支援1・2の施策は 高齢者の生活を支えサービスが後退しないように

質問

要支援1・2と認定された人は介護保険から外され、市で実施している地域支援事業に新たなメニューを設け、代替えサービスを提供するとしている。サービス内容は市町村に任せられ、事業予算に上限を付け、給付費削減が義務づけられる。サービスの大後退や市町村の格差が広がるのが懸念される。機能維持、孤立感の解消、生活に張り合いを持って暮らせるよう、高齢者の生活を支え、サービスが後退しないように腹を据えて行ってほしい。

市長

要支援1・2の介護は必要。できる限りのことはする。



小林よりの子
(日本共産党)



新設された地域密着型小規模特養老人ホーム

民生部長

市独自事業となるが、今まで行ってきた、在宅サービス調整会議や事業者連絡会で相談し、小諸市独自の新しいメニュー等を含め、検討・相談し、今以上に真剣に取り組んでいく。訪問介護については、色々な資源を探しながら、市が担う役割、専門業者に入ってもらう部分を検討していく。

小諸公園（懐古園）における 宗教法人と自治体との関係について

質問

「公園整備積立基金」と行政用語が記された契約行為の内容については。《※旧士族会（懐古園保存研）との協議の中で、入園料金値上げをする中、天守閣復元という諸々の将来的整備のために、市が責任を持つて毎年一定額を積み立てるのでご理解を、との話であるが。》

市長

市が支払う賃借料を割合制から固定化へと変更した内容で、公園整備積立基金として年額500万円を別に支払う。なお、「公園整備積立基金」としたことについては、基金ということで誤解を招くため、不適切な表現であったと考えるが、懐古神社側



林 稔
(新風会)



懐古神社例大祭（春祭）における露天出店（H26.4.24～25）

の積立金に充てるための土地賃貸借料と認識している。

質問

懐古園における宗教法人と市との関係について。

市長

憲法に規定する政教分離原則を順守すべき立場であり、宗教法人所有の財産等については、宗教法人自身が整備するものと認識している。

二次救急医療を担う小諸厚生総合病院の
医師・看護師を確保し、地域医療の充実を図るべき



早川 聖
(日本共産党)

質問

市・厚生病院からの情報発信がない。再構築の進捗状況等を市民に知らせ市民と協働で再構築を進めるべきではないのか。

市長

地域医療の充実と安全・安心なまちづくりに向けて、状況を見ながら必要な対応を進めたい。

質問

24時間体制での二次救急医療の提供が最も切実な課題。医師・看護師等の確保がないと二次救急医療の提供を受けることができないではないか。

市長

常勤と非常勤医合せて44人。常勤医のいない診療科は耳鼻科、皮膚科、心臓血管外科、眼科の



質問

4科。内科、外科等常勤医師の数が十分でない。当直医の当番回数も過重、増員が必要。

医師の確保は、浅間南麓地域医療を充実させる観点から、近隣市町とも協力を得ながら取り組むべきではないのか。

市長

市が医者、看護師を何とかしろということとは難しくできません。

協働のまちづくりを進めるには
プロセスからの参画こそ重要では…



神津 眞美子
(新政会)

質問

公共施設等の総合管理計画策定の見直しはどうか。

財政課長

資産台帳の整備から進め、平成29年3月までには施設全体の基本方針を策定していきたい。

質問

新ごみ焼却施設の管理監督体制については、供用開始までに整えるという事だったがどうか。

環境水道部長

専任の職員が一人いて、日々現場に向いている。毎日通って現場を見る中で、それなりの判断力についてくると考える。

質問

コンパクトシティの核に位置するあいおい公園は、協働のま

建設部長

ちづくりのモデルになると認識している。結論が出てから市民に示すのではなく、プロセスから参画することこそ重要だと思うが、どうか。

いただいたご意見については反映をしまいたい。

質問

住民の声を聞いて、合意形成に向けてご尽力いただきたい。



工事が進むあいおい公園

高地トレーニング構想について

質問

アスリート関係のみならず、こういう形のものが、小諸市にはフィードバックするものがある、寄与するということをや、やはり市長を中心に声を大にして、そして市民の協力、理解をいただきながら、期待や夢を持って、市民がそれを捉えてくれることが事業推進には大事と思うが。

市長

見極めが付いたところで改めて申し上げようかと思っっている。

質問

市民の参加と協働という捉え方の中の一つのモデルケース的にしてはどうか。

市長

分かりました。早く結論を出



別府 福雄
(新政会)



浅間山麓高地トレーニング構想

し、皆さんと相談をして進めていきたい。

質問

新図書館機能で利用者を手助けするレファレンスサービスは大きな魅力の一つになると思うが。

教育長

要望・期待に応えられる意味でレファレンスの訓練を今しっかりやっていると

既存商店への助成制度の検討はできないか

質問

今年度の各区からの事業要望は受け付けなかった。今後、地域要望にどのように対応していくのか。

市長

新制度では、維持補修と改良とに分け、決定した個々の計画は、実施計画や予算要望に反映し、明確な実施に向けた取り組みとする。

質問

中心市街地・商店街の現状をみると、既存商店への支援も必要ではないか。高崎市では、「まちなか商店リニューアル助成事業」を行い、改装や備品購入等に助成している。小諸市でも商店の実情等を調査し、商店



柏木 博美
(日本共産党)



相生町商店街

版リフォーム助成制度の検討ができないか。

経済部長

個々の実態を把握することは、商店に一番密接な商工会議所と一緒にやっていくのが一番いいのではないかと考える。

クリアしなければならぬ問題もいくつかあるが、助成制度支援制度については、検討をする時期に来ているのではないかと考えている。

6月12日
まち再生
特別委員会
報告

●佐久医療センター視察
3月に開院し専門医療と救急医療に特化した紹介型の病院です。佐久広域の医療機関と連携し基幹病院の核として担う施設であり視察で得た事項等を厚生病院の再構築に今後提言していきます。

●小諸商工会議所・商業委員会と小諸商店会連合会との「意見交換会」

「中心市街地の活性化及び病商連携」をテーマに意見交換し空き店舗が増えている現状や既存商店への助成等の要望が出され、当委員会で課題整理し委員会審議に反映していくと確認しました。

●「5月26日」委員会

市庁舎等整備事業に伴う「エネルギー供給サービス（E-S）事業」の内容及び覚書に関し報告が

あり23日に小諸市と㈱シーエナジー・長野県厚生連とで覚書を締結した。病院完成まで2年開く

がその間CO2削減効果が十分あり、病院との熱融通では年間50tの削減効果が見込めるとの説明を受けました。

●「6月12日」委員会

市庁舎等建設工事の視察を行い、工程通りに進んでいるが地元区には完全に配慮し工事を進めていくと確認しました。

●今後の委員会取り組み

「コンパクトシティ構想により病院・庁舎・図書館等が核となるが街中に人が来る施策が必要」「行政で何ができるか」課題をまとめ市議会として政策提言していきます。



新庁舎等建設工事の様子

6月17日
議会基本方針等検証
委員会
報告

平成22年に、自らの意思と責任において主体的に行動し、暮らしやすい地域社会を協働でつくることを理念とした小諸市自治基本条例を議会の承認により制定しました。議会では、条例に基づき、議会及び議員の責務を明らかにし、市民参加、開

かれた議会を推進することなどを理念とする小諸市議会基本方針を平成22年8月に策定し、この間活動を行ってきました。

規定では、基本方針の理念に基づき実践されているか評価検討を行う、また、必要に応じ改正を含む適切な措置を講じるとしています。

策定から4年近くが経過したことから、議会基本方針等検証委員会を立ち上げ、検証を行い、本市議会を更に活性化し、

市民の負託に的確に 대응することを目指し活動を行っていきます。

議会基本方針等検証委員会委員紹介

- 委員長 柳沢乃ぶ子
- 副委員長 清水喜久男
- 委員 早川 聖
- 〃 柏木今朝男
- 〃 依田 善典
- 〃 中村 憲次
- 〃 相原 久男
- 〃 小林より子

議会報告会

10月下旬開催予定
おでかけください



委員会メンバー

傍聴席



六供 市野 隆 さん

3月に横浜から小諸に来ました。小諸のことを少しでも知りたいと傍聴に行きました。

思わずメモを取ったところがあります。「建設中の病院に必要な医師を確保するノウハウは無」。組織改革があったある部署からは「資産台帳の整理だけで年内かかる」。人権政策の回答の中で「同和地区の整備は進んだ」。

それぞれ「佐久病院へ行けってことかな」とか「他にやることあるでしょう」、「いまだに同和地区などという言葉があるんだ」などと、かつてに突っ込みを入れている自分がいきました。

知らなかったことや疑問点がいっぱい出てきて、宿題をもらったようでした。又傍聴したい！

編集後記

今まさに市をあげて取り組みがなされているコンパクトシティを基本とした主要建設事業が進行中であり、完成時には面目も一新した近代的で利便性と健全性に優れた市民本意の新庁舎に生まれ変わろうとしています。新時代に即した組織体制と配置による活動体制が期待されます。

議会では新たに基本方針等検証委員会を6月より立上げ、基本方針に関する活動事項について、評価検証することにより、更なる議会活動充実に向けて進めていくこととしています。

国政では改正国民投票法が成立し、憲法改正に限定されるなか、投票年齢を4年後から18歳以上に引き下げられ、一方中立と公正な立場を堅持していた公務員も自由な討論が認められ、18歳以上のの人々にも憲法に対する適正な認識が求められています。

